

★ボルソナロー家と極右ギャング団の密接な関係＝グレン・グリーンウォルド

ブラジルを拠点に活動するグレン・グリーンウォルド記者は3月18日に公開したブログで、ブラジルの極右のボルソナロ大統領一家と同国の極右非合法武装組織（パラミリターレス）の密接な関係が明らかになったと最近の動きをレポートした。以下はその概要。

ボルソナロ大統領は訪米を利用してイメージ回復に努めているが、就任二カ月半で、次々とスキャンダルが明るみにでて、誠実な指導者というイメージは崩壊している。核心的な事実、ボルソナロー家がブラジルのパラミリタリー（ミリシア＝極右ギャング団）のリーダーと緊密な関係にあることだ。ボルソナロと三人の息子は公職に就きながら、ミリシア・グループの幹部たちと長い間関係をもってきた。この関係がどんな深いものだったかが今週明らかになった。

昨年3月13日、リオデジャネイロの市議員だったマリエール・フランコ女史（写真左）が殺害された。彼女は黒人レスビアンでLGBTの人権活動家だっただけに衝撃だった。夜9時にリオの街頭でプロの仕業で暗殺されたのだ。直後から警察ではミリシアの仕業と判定されていた。ミリシアの構成員は現職や退職警察官、元軍人たちで、狙撃や軍隊的な作戦の訓練をされている。フランコ女史暗殺から約一年後のことし3月11日、リオ警察は殺害に使った車の中にいた2人の容疑者を逮捕したと発表した。一人はリオの現職警察官、もう一人は退職警察官である（写真右）。



直後にわかったことは、一人は車で、もう一人は実際に彼女の頭を4発撃ち、戻ってきたい彼女の運転手を3発撃って殺害したことだ。この狙撃犯は、ボルソナロー家と同じ高級住宅街に住んでいた。両家ともすぐ近くで百万ドルはする館（警官の給料ではとても手に入れない）である。軌を一にしてソーシャル・

メディアにはボルソナロ自身と暗殺犯が肩を組んでいる写真が出回った。また警察で確認されたところでは、ボルソナロの3男が殺害犯の娘とデートしていたことがわかった。

これらの事実は偶然の一致というわけにはいかない。広い背景がある。去る一月にリオ警察は、フランコ殺害にかかわったとして、ギャング団の指導的なメンバー6人のうち5人を拘束した。リオでもっとも強力で凶悪なミリシアだ。そのうちの一人がフランコ殺害の犯人だったが、かれはフランコだけでなく、複数の政治家や経済人、あるいは敵対するギャング団のメンバー殺害にかかわっていた。証拠を残さずに暗殺するプロだった。逃げた残りの一人は団のトップであるアドリアノ・ノブレーガだ。本人は逃走中だが、明らかにされたのは、彼の母親と妻が十年間にわたって、ボルソナロの長男でリオ州議会議員だったファビオ・ボルソナロ（現在は連邦上院議員）に公設事務員として雇われていたことだ。

またファビオ・ボルソナロと妻の資金を管理していたのは運転手もかねたブリシオ・ケロイズで、彼も元警察官で有名なミリシアのメンバーである。運転手の給料ではとても賄えない、膨大な資金を使える立場にあって、彼が二人を事務所の職員として給与を払って雇ったのだった。警察が資金の流れを解明しようと尋問を始めると、ケロイズはミリシアが支配する地域に逃げ込んで隠れてしまった。

ファビオは州議会議員のとき、ミリシアを公然と称賛し、賞まで与えていた。またケロイズはボルソナロ現大統領自身とも近い関係にあった。ボルソナロ大統領自身もミリシアの味方をしていて、彼は数回にわたって公の場で彼らを称賛した。2008年にブラジルの左翼がリオの州議会でミリシアの犯罪追及をおこなった。リーダーはマルセロ・フレシオ下院議員で（マリエール・フランコは彼の秘書だった）、彼の作った委員会は、多くの元警官や軍人をミリシアのメンバーとして訴追し投獄した。フレシオの英雄的行動は称賛されたが、殺人予告をうけたためボディガードをつけて厳重な警戒の下に置かれた。そのときボルソナロ議員（現大統領）は、装甲した車にのるフレシオ議員を「臆病者」と攻撃しただけでなく、彼が追及したミリシアは、自分の銃と訓練で犯罪から地域を守っていると称賛したのだった。

ボルソナロとミリシアの関係はそれだけではない。最悪のケースはミリシアの犯罪追及を指揮していたパトリシア・アシオリ判事（写真）が2011年に自宅前で暗殺された時だ。事件は当時からミリシアの犯行とみなされ、ブラジルの法治

と民主主義への最悪の攻撃として批判をあびたが、ボルソナロ議員はその時ツイトで、判事の死を悼むといながら、「法廷で、おろかでいわれのないやり方で警察官の自尊心を傷つけたため、多くの敵を作った」と判事を非難した。



こうした背景から、なぜボルソナロが大統領選挙中に警官にたいする無刑罰（麻薬対策や治安維持の名目で貧困地帯にはいって殺人を犯しても罰を受けないようにする）措置を公約として訴えたかがわかる。この公約は、いまモロ法相によって推進されている。かれは労働党政権下の汚職追及で名を馳せた判事で、ルラ元大統領（2018年の大統領選挙での有力候補）を投獄して選挙に出馬できなくし、ボルソナロ政権誕生に貢献した人物だ。モロ判事がいま議会で追求している犯罪対策強化法案の中心は、無実の人々を殺害した警察官たちの恩赦である。

フランコ殺害容疑で逮捕された容疑者の豪華住宅からは 117 丁のM16ライフルが見つかった。ブラジル史上、最大の犯罪武器捕獲だった。そのことはボルソナロ大統領が訴える貧困地帯（ファベラ）での麻薬や銃犯罪だけでなく、痕跡を残さないさらに大規模な凶悪犯罪が高級住宅地を拠点に行われていることを示している。その犯罪組織とボルソナロ大統領一家が密接な関係にある。これが世界第5位の経済力をもつブラジルの現実である。（The Intercept 3月18日）

（以上）